
【クレジットカードに関する総合調査】 2016年度版 調査結果レポート

株式会社ジェーシービー

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様(JCB会員・非会員を含む)を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2016年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場(保有・利用実態)について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する上での一つの素材として、社会的な分析にご利用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

目次

I.	調査設計	3
II.	結果の概要	4
1.	クレジットカード保有率	5
2.	クレジットカード保有・携帯枚数	6
3.	クレジットカード利用頻度	7
4.	クレジットカード利用金額	8
5.	保有クレジットカードごとの利用理由	9
6.	クレジットカード利用業種	11
7.	支払の際のクレジットカード利用割合	14
8.	月平均生活費とクレジットカード利用割合	16
9.	月平均生活費とクレジットカードの保有状況	17
10.	電子マネーの利用状況	18
11.	デビットカードの利用状況	19

I. 調査設計

- 調査時期 : 2016年 9月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 3,500人 (20代から60代の男女、学生を含む)
※登録型モニターへの依頼・アンケート回答任意

当報告書における表示内容と注意点

当報告書では、本年度(2016年度)の調査結果を中心に、2012年度～2015年度との比較を含めて作成しております。本年度は、選択肢の表示順序による回答への影響を除くことを目的に、設問によって表示順に対してランダムイズ制御をかけた質問方法を採用しております。

<回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体		
全体	男性	331	383	323	386	317	1740	3500	全体	3500
	女性	322	378	322	396	342	1760			
北海道	男性	27	29	27	34	27	144	300	北海道	300
	女性	27	31	29	38	31	156			
東北	男性	14	14	15	18	14	75	150	東北	150
	女性	13	14	15	18	15	75			
北関東	男性	14	16	14	18	14	76	150	首都圏	1050
	女性	13	15	14	18	14	74			
首都圏	男性	92	111	85	93	79	460	900		
	女性	84	103	79	92	82	440			
甲信越・北陸	男性	13	16	14	18	14	75	150	甲信越・北陸	150
	女性	13	15	14	18	15	75			
愛知	男性	30	37	28	31	27	153	300	東海圏	450
	女性	28	34	26	31	28	147			
東海 その他	男性	14	16	14	17	14	75	150		
	女性	13	16	14	17	15	75			
近畿	男性	46	55	43	53	47	244	500	近畿圏	650
	女性	47	57	45	56	51	256			
近畿 その他	男性	13	15	14	17	14	73	150		
	女性	14	16	14	18	15	77			
中国	男性	13	15	14	18	14	74	150	中国・四国	300
	女性	13	15	14	18	16	76			
四国	男性	12	15	14	18	14	73	150		
	女性	13	15	14	19	16	77			
福岡	男性	30	30	26	33	26	145	300	九州圏	450
	女性	30	32	28	36	29	155			
九州 その他	男性	13	14	15	18	13	73	150		
	女性	14	15	16	17	15	77			

(実数)

- 集計方法 : ウェイトバック集計 (回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う)
各サンプルに、母集団^(※)と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を掛け合わせて集計サンプルを算出
<※>2010年国勢調査確定値を用いた

	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	愛知	東海 その他	近畿	近畿 その他	中国	四国	福岡	九州 その他	TOTAL
母集団	3,587,238	5,824,419	4,535,954	24,257,142	5,274,090	4,894,255	4,916,458	11,175,216	2,428,292	4,713,990	2,454,081	3,278,011	5,839,470	83,178,616
母集団比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%
回収数	300	150	150	900	150	300	150	500	150	150	150	300	150	3500
回収比率	8.6%	4.3%	4.3%	25.7%	4.3%	8.6%	4.3%	14.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.6%	4.3%	100%
ウェイトバック値	0.503	1.634	1.272	1.134	1.479	0.686	1.379	0.940	0.681	1.322	0.688	0.460	1.638	
ウェイトバック後サンプル	151	245	191	1,021	222	206	207	470	102	198	103	138	246	3,500
ウェイトバック後比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%

掛け合わせる

総括

■ クレジットカードの保有率は84%。平均保有枚数は3.2枚。

クレジットカード保有率は2012年から減少傾向がみられたが、2016年は昨年と同程度の84%であった。

男女20代、男性30代の保有率は他の年代と比べて低く、80%を下回る。

一人あたりの保有枚数は平均3.2枚、携帯枚数（実際に持ち歩くクレジットカードの枚数）は平均2.0枚で、どちらも昨年と同程度であった。

■ 1番利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたり5.7回、4.9万円が利用されている。利用金額は昨年から減少している。

1番多く利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたり平均5.7回、4.9万円利用されている。利用頻度は昨年から大きく変わらないが、利用金額は減少している。

2番目に利用しているクレジットカードも、1ヶ月あたりの平均利用頻度は昨年から大きく変わらないが、利用金額は減少している。

■ クレジットカードの利用では、「ポイント・マイル」や「入会金・年会費の安さ」など利得性や、身近な場所で利用できる利便性が重視されている。

1番多く利用するクレジットカードを利用する理由は、「ポイントやマイルがためやすいから（46%）」、「入会金・年会費が他社と比較して安いから（無料含む）（33%）」が高い。

2番目に多く利用するクレジットカードも、1番多く利用するカードと同様の理由が高い。

その他、「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる」「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある」という理由も高く、普段の生活で接点がある場所でのサービスが、クレジットカード利用を促進させていると考えられる。

■ クレジットカード決済が多い業種は「オンラインショッピング」、「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」。「オンラインショッピング」での利用は増加傾向にある。

クレジットカードで支払いを行っている業種は、「オンラインショッピング（37%）」、「携帯電話（29%）」、「スーパーマーケット（26%）」が多く、日常的な買い物でカードは利用されている。「オンラインショッピング」では2014年から決済利用が増加している。

■ クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.2万円。そのうち平均6.2万円はクレジットカードで支払われている。

クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.2万円。そのうち、クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は6.2万円であった。生活費に占めるクレジットカードの利用割合は34%であった。

■ 電子マネーの保有率は81%、利用率は66%。

電子マネーは保有率81%、利用率66%で、昨年と比較して大きな変化はみられない。電子マネーは「鉄道・地下鉄・バス」や「コンビニエンスストア」で利用される機会が多い。

■ デビットカードの保有率は14%、利用率は6%。

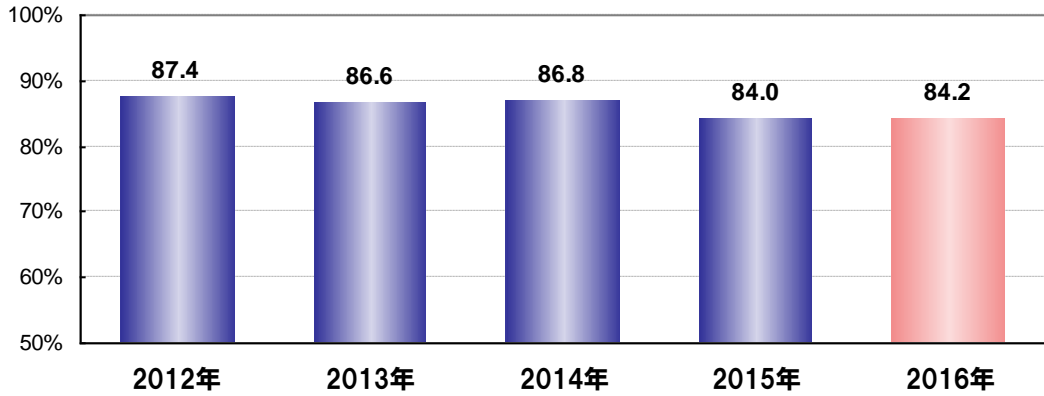
デビットカードは保有率14%で、昨年から大きな変化はみられない。利用率は6%で、2014年から僅かに上昇傾向がみられる。主なデビットカードの入会理由は「金融機関のキャッシュカードについてきたため（24%）」であった。

1. クレジットカード保有率

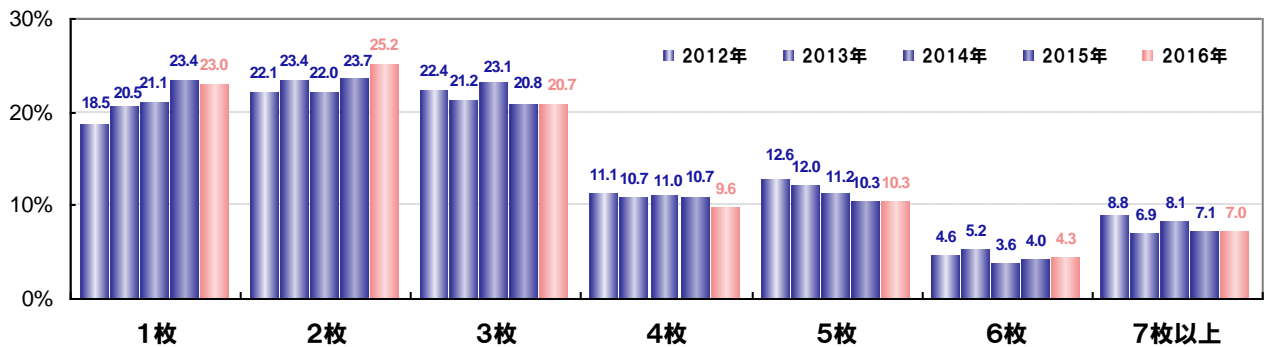
クレジットカードの保有率・保有枚数ともに、昨年と同程度だが、2014年以前より低い。

- ・クレジットカード保有率は84.2%と昨年と同程度だが、2014年以前と比較すると、低下している。
- ・保有枚数も昨年と同程度であり、「1枚」～「3枚以下」が全体の約7割を占める。2014年以前と比較すると保有枚数は減少している。

■ クレジットカード保有率【経年】 (N=3500)



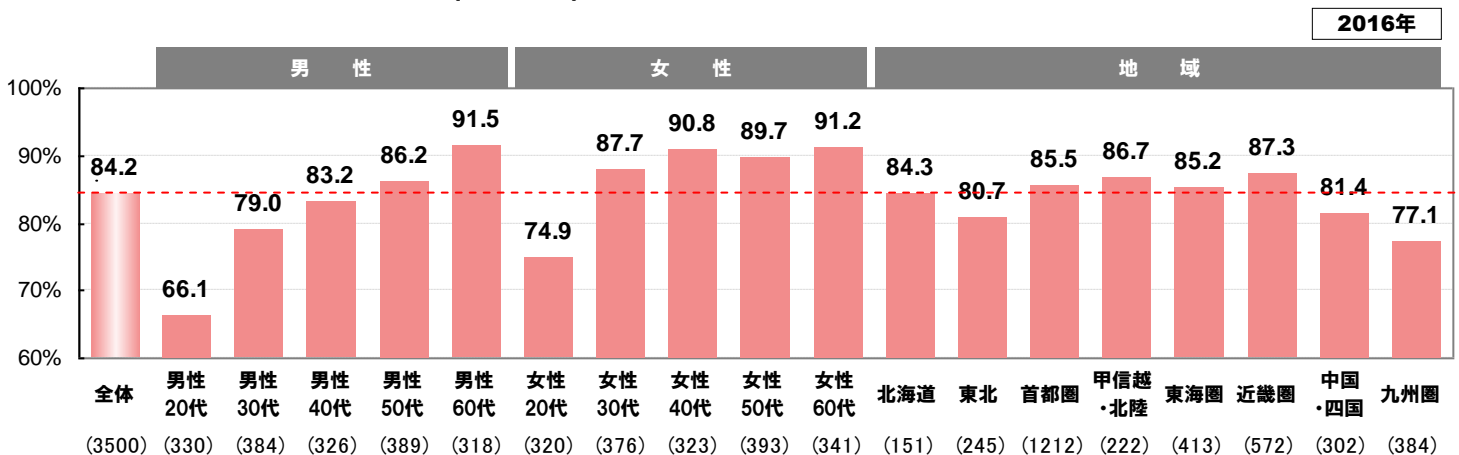
クレジットカード保有枚数【経年】 (クレジットカード保有者のみで集計)



20代のクレジットカード保有率は低い。女性の保有率は全般的に男性より高い。

- ・年代別に見ると、20代のクレジットカード保有率は男性66.1%、女性74.9%と特に男性で低い。
- ・男女別では、男性60代、女性40代、女性60代の保有率が9割を超えて高い。地域別では、近畿圏の保有率が87.3%と最も高く、九州圏が77.1%で最も低い。

■ クレジットカード保有率【属性別】 (N=3500)

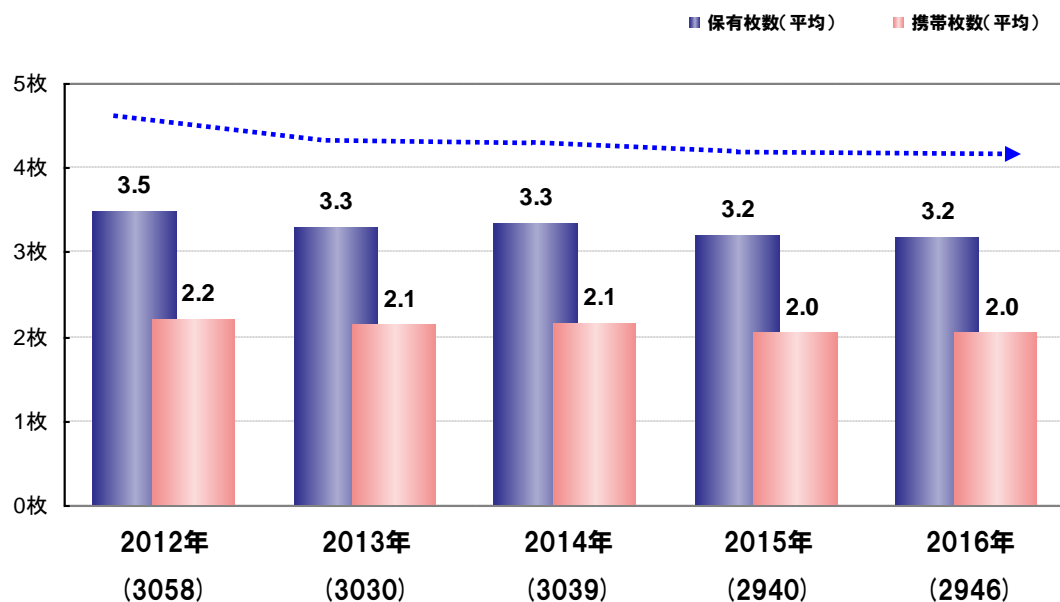


2. クレジットカード保有・携帯枚数

平均保有枚数は3.2枚、平均携帯枚数は2.0枚。ともに2012年から微減傾向。

- ・クレジットカードの平均保有枚数は3.2枚。大きな変化でないが、2012年から微減傾向がみられる。
- ・携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)は平均2.0枚。保有枚数と同様に、2012年から僅かな減少傾向がみられる。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数 (N=2946:クレジットカード保有者) 【2016年】

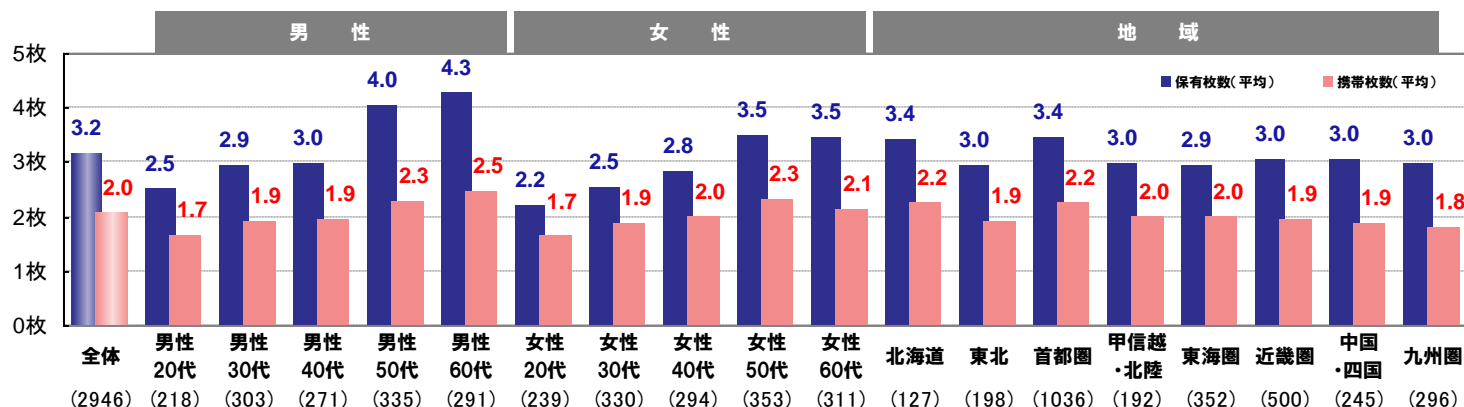


平均保有枚数は男性、50～60代が多い。平均携帯枚数は性別や年代で大きな差はみられない。

- ・保有枚数は女性より男性が多い。年齢が上がるほど保有枚数は多くなり、男性50～60代の保有枚数は4枚以上で高い。一方で、男女20～30代、女性40代は3枚に満たない。地域別では、東海圏が3枚に満たない。
- ・携帯枚数は性別・年代別で大きな差はみられないが、男女20代、男性30代、東北、近畿圏、中国・四国、九州圏はやや少ない。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】

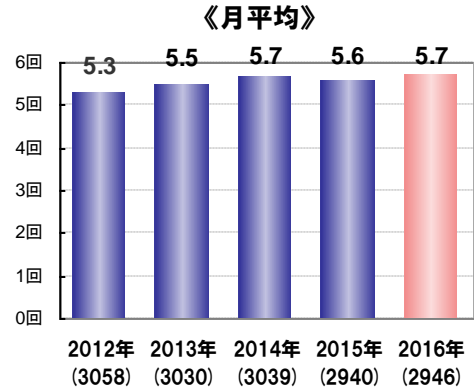
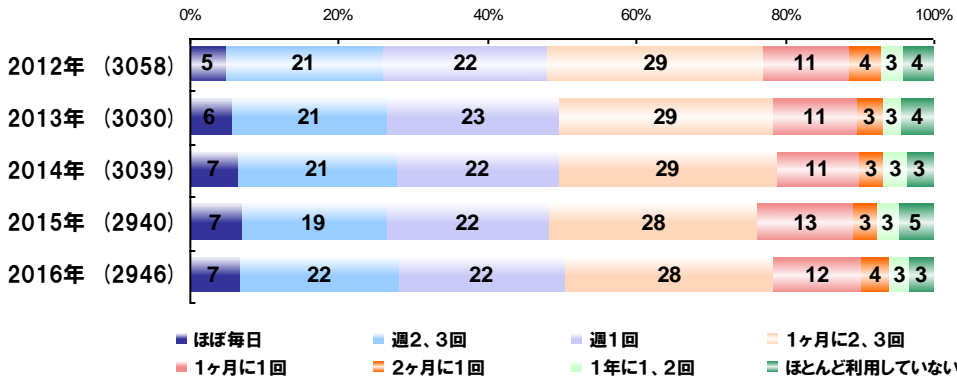
2016年



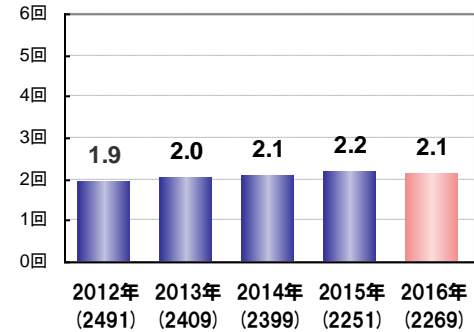
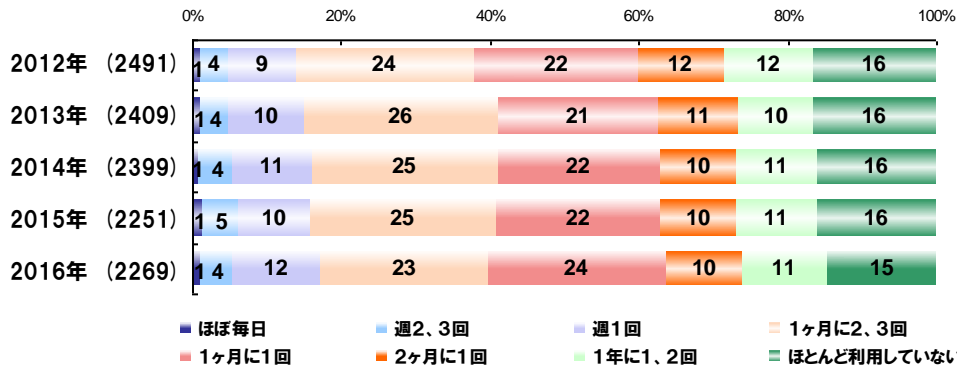
3. クレジットカード利用頻度

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は5.7回。
1番目、2番目ともに昨年から大きな変化はみられないが、2012年からは微増傾向。

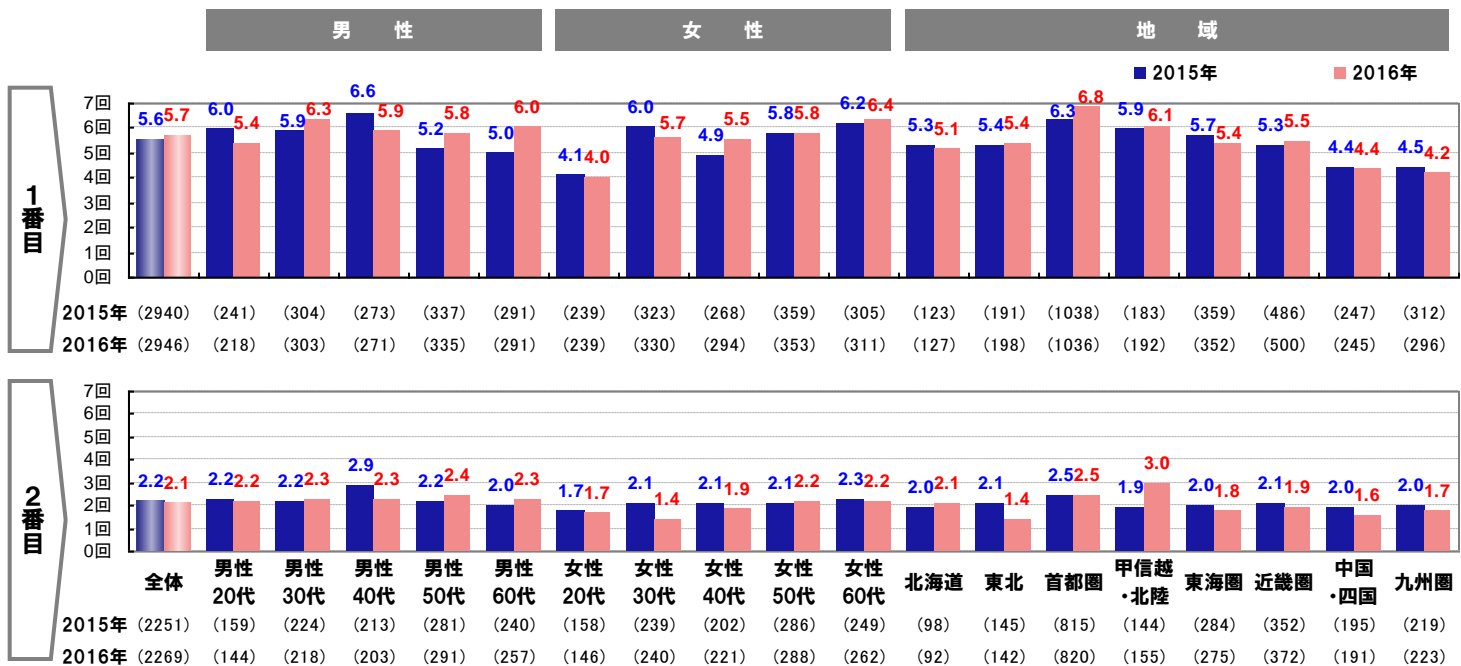
【1番多く使うカード(N=2946:クレジットカード保有者)】



【2番目に多く使うカード(N=2269:クレジットカード保有者)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度/月



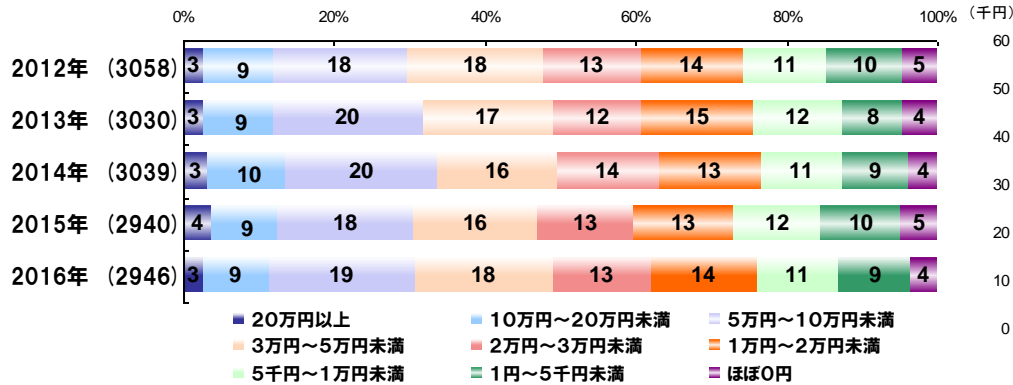
※利用頻度の定義: 本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	ほぼ毎日	週2,3回	週1回	1ヶ月に2,3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1,2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

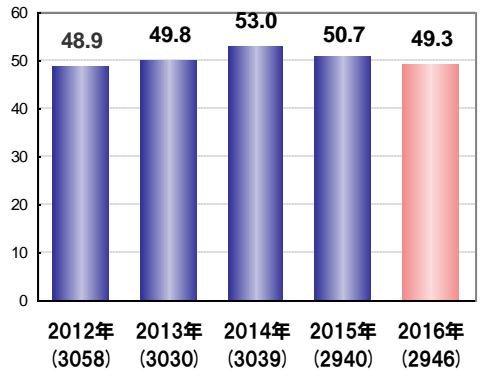
4. クレジットカード利用金額

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は4.9万円。2014年から減少傾向がみられる。

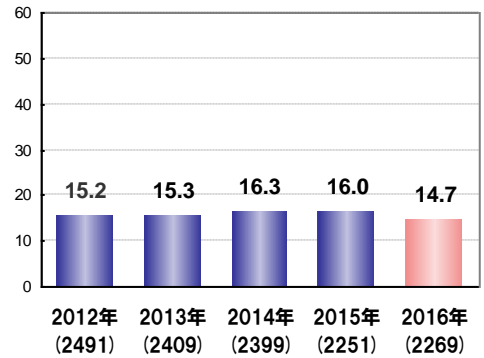
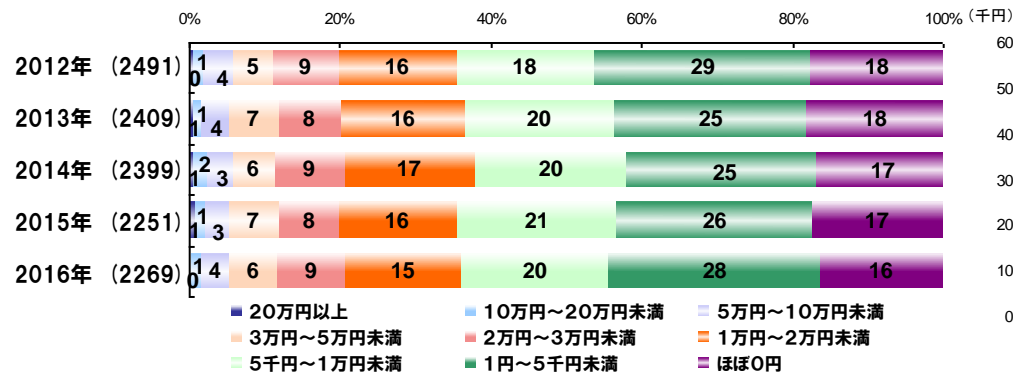
【1番多く使うカード(N=2946:クレジットカード保有者)】



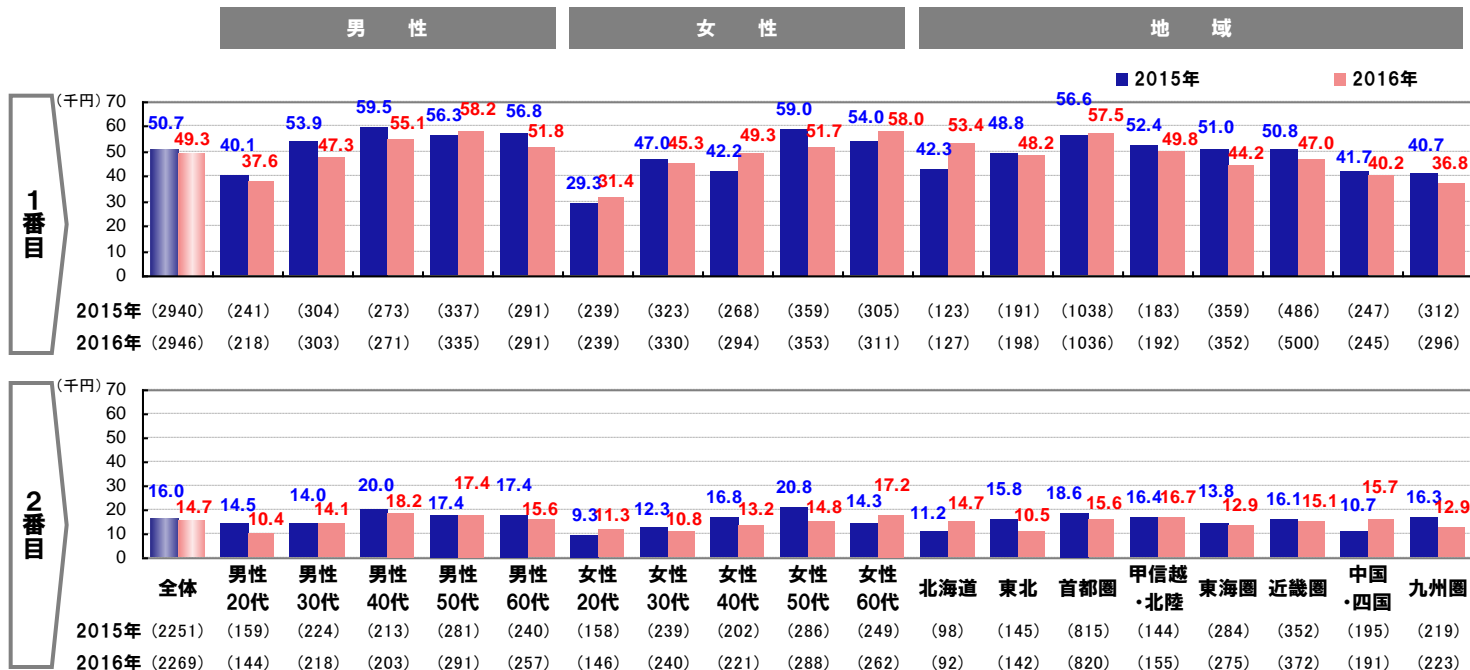
《月平均》



【2番目に多く使うカード(N=2269:クレジットカード保有者)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額/月



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円～20万円未満	5万円～10万円未満	3万円～5万円未満	2万円～3万円未満	1万円～2万円未満	5千円～1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用金額推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

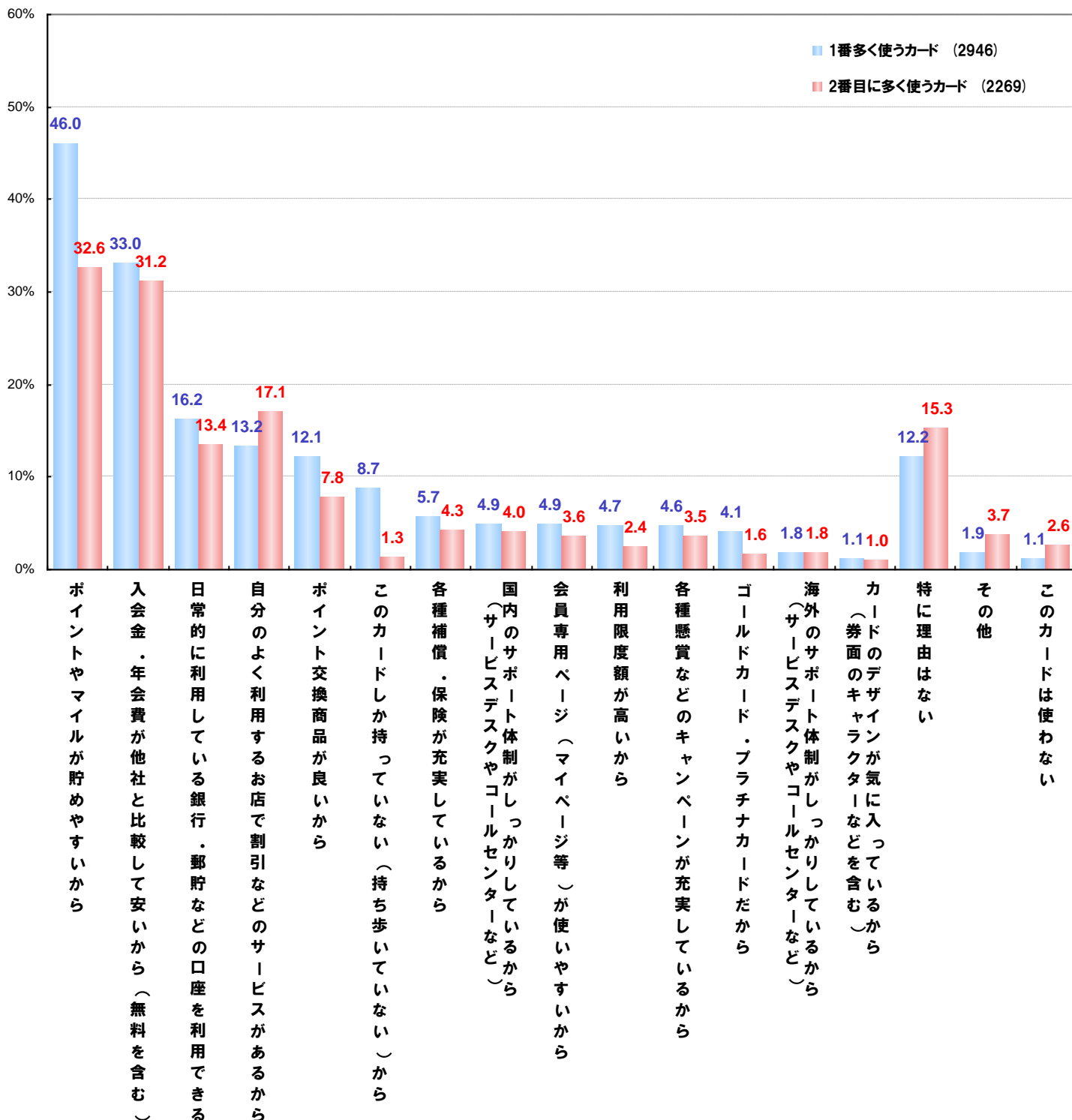
なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

5. 保有クレジットカードごとの利用理由

1番多く使うクレジットカードの主な利用理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから」と、「入会金・年会費が他社と比較して安いから」。

- 1番多く使うクレジットカードの利用理由としては、「ポイントやマイルが貯めやすいから(46.0%)」が4割を超えて高い。「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(33.0%)」が3割を超えて続く。
- 2番目に多く使うカードも1番多く使うカード同様、「ポイントやマイルが貯めやすいから(32.6%)」が最も高く、「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(31.2%)」が3割を超えて続く。

■ クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)

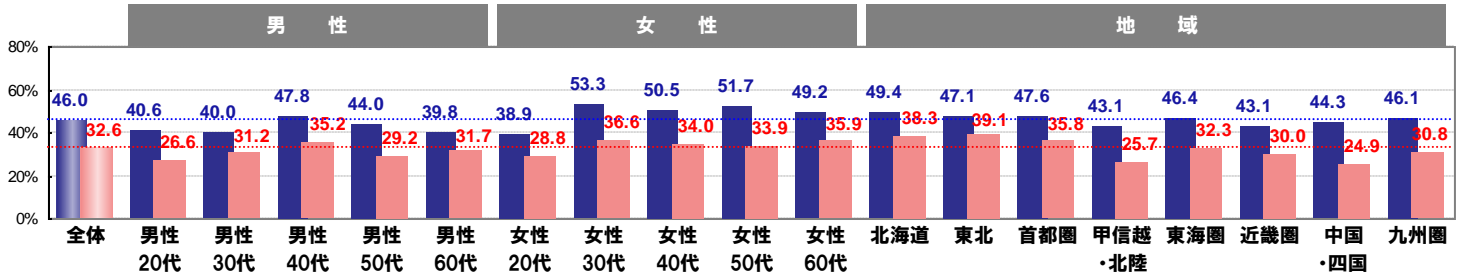


「ポイントやマイルが貯めやすいから」は女性30代～50代が高く、
 「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)」は女性50代が高い。

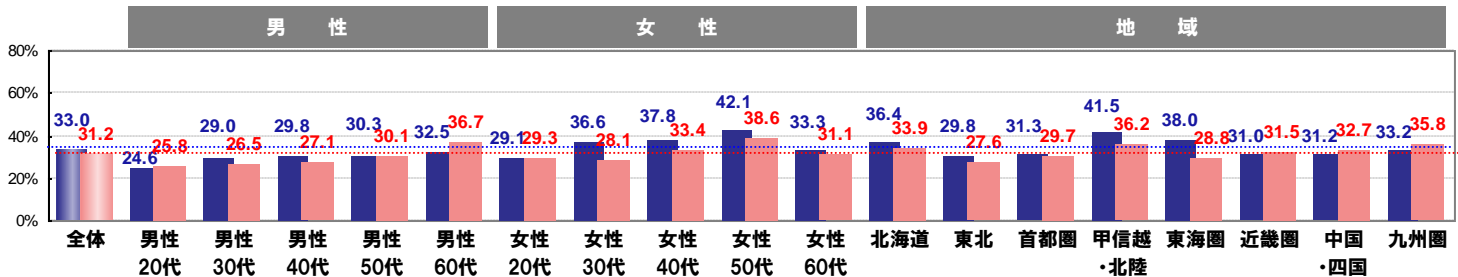
■ クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)(属性別)上位5項目

■ 1番多く使うカード
 ■ 2番目に多く使うカード

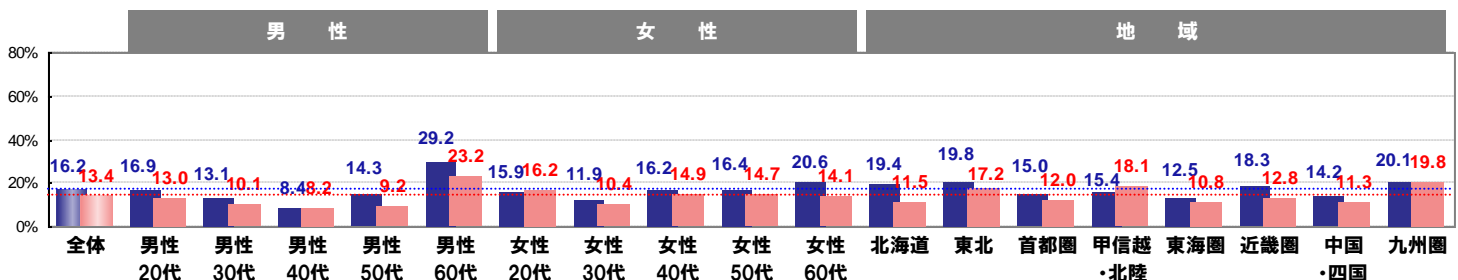
ポイントやマイルが貯めやすいから



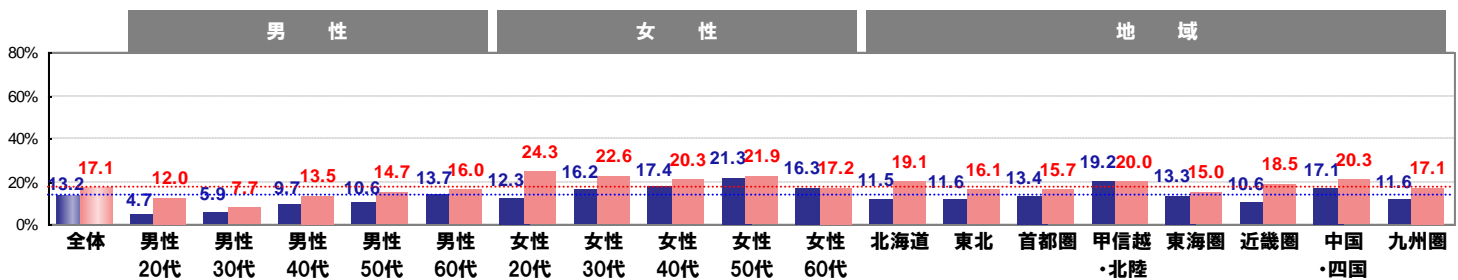
入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料を含む)



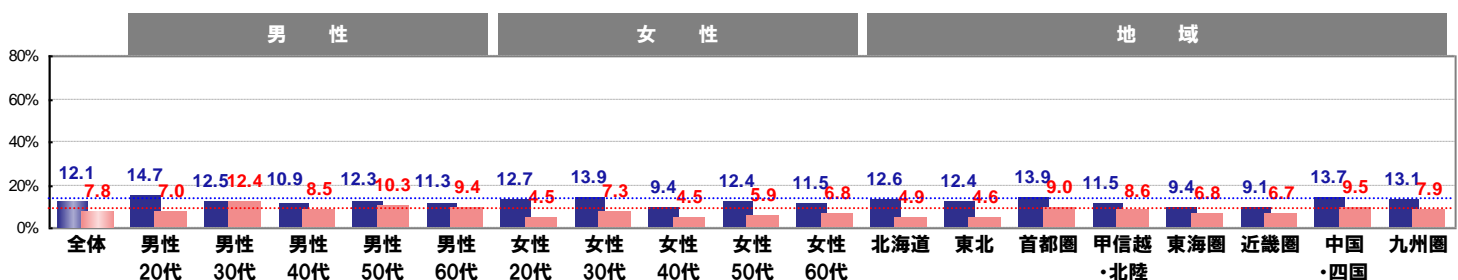
日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる



自分のよく利用するお店で割引などのサービスがあるから



ポイント交換商品が良いから



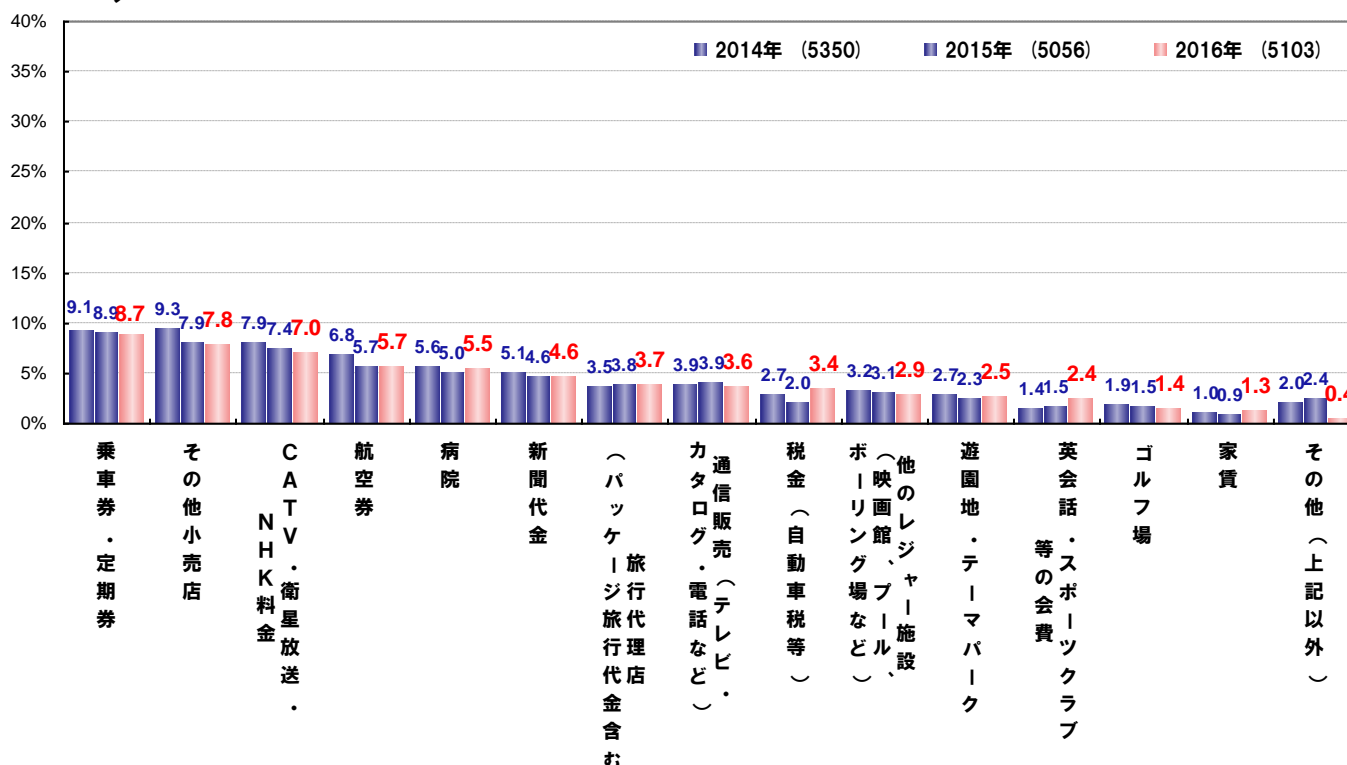
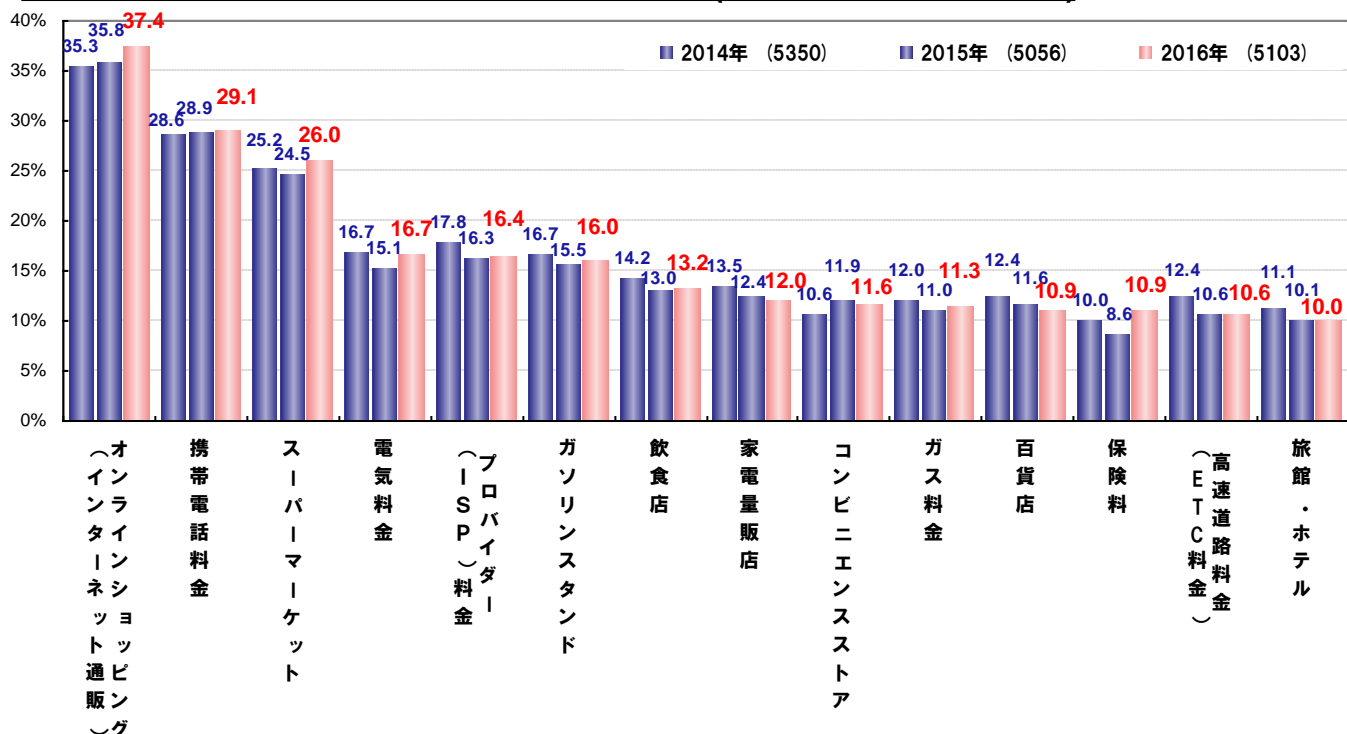
1枚目 (2946) (218) (303) (271) (335) (291) (239) (330) (294) (353) (311) (127) (198) (1036) (192) (352) (500) (245) (296)
 2枚目 (2269) (144) (218) (203) (291) (257) (146) (240) (221) (288) (262) (92) (142) (820) (155) (275) (372) (191) (223)

6. クレジットカード利用業種

カード利用が高い業種は「オンラインショッピング(インターネット通販)」、「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」。
「オンラインショッピング(インターネット通販)」でのカード利用は、増加傾向がみられる。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「オンラインショッピング(インターネット通販)(37.4%)」が最も高い。次いで「携帯電話料金(29.1%)」、「スーパーマーケット(26.0%)」が2割を超えて続く。
- ・「オンラインショッピング(インターネット通販)」でのカード利用は増加傾向にある。
- ・「電気料金」、「保険料」、「税金」、「英会話・スポーツクラブ等の会費」、「家賃」でのカード利用は昨年比で増加。

■ 過去3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種【経年】(N=5103:クレジットカード枚数)



※ここでのクレジットカード利用業種は、クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。

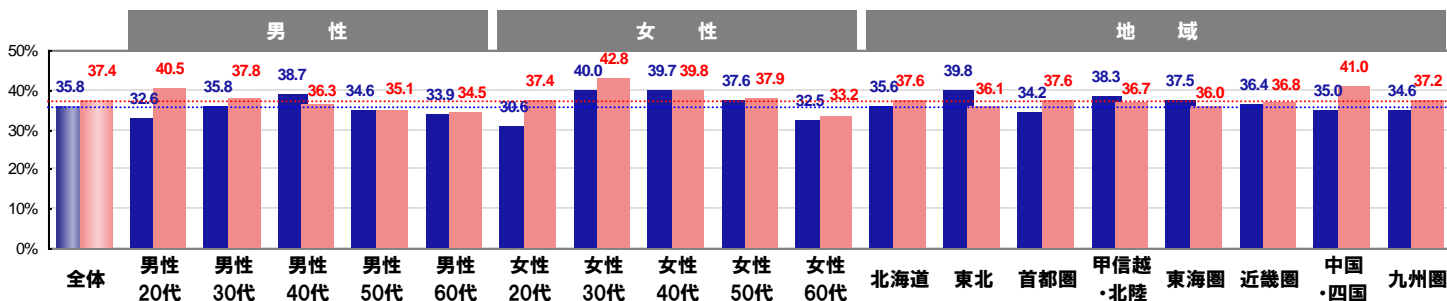
「オンラインショッピング(インターネット通販)」でのカード利用は、女性30代が高い。
 「携帯料金」は、女性より男性が高い傾向は変わらない。
 「スーパーマーケット」では女性40代以上が高く、
 地域別では、首都圏、甲信越・北陸で高く、また昨年と比較しても増加している。

■ 過去3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種【属性別】

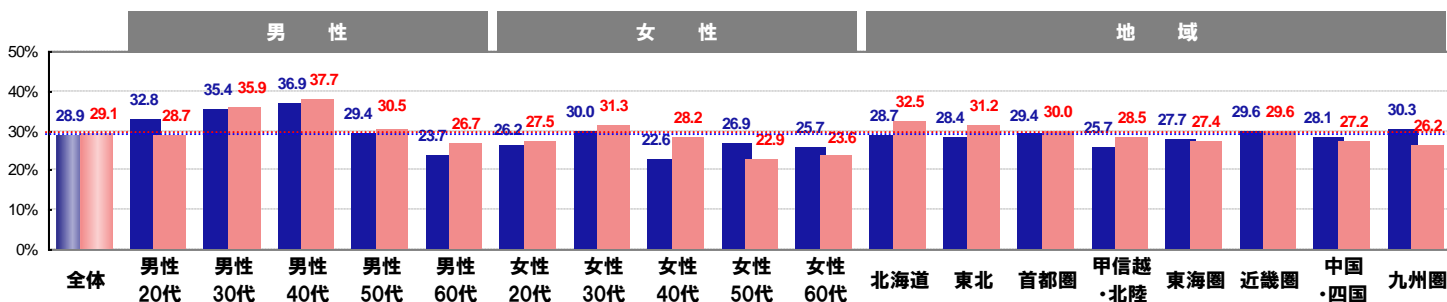
※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。

オンラインショッピング(インターネット通販)

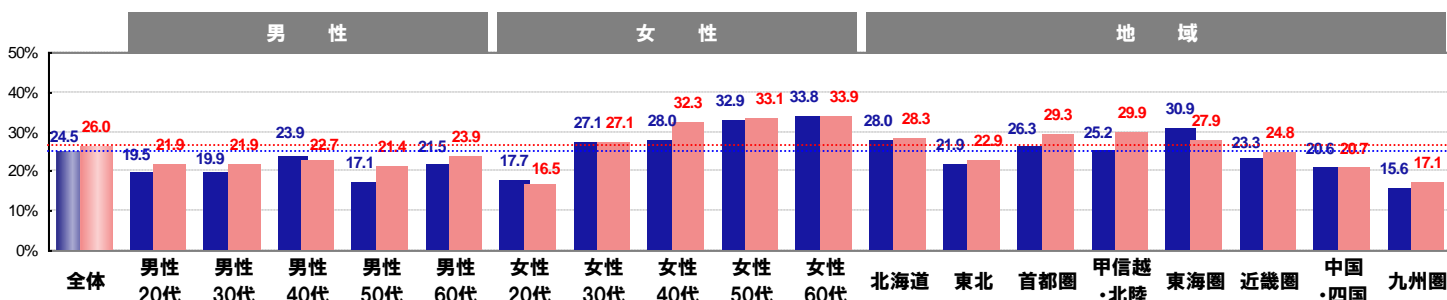
■ 2015年 ■ 2016年



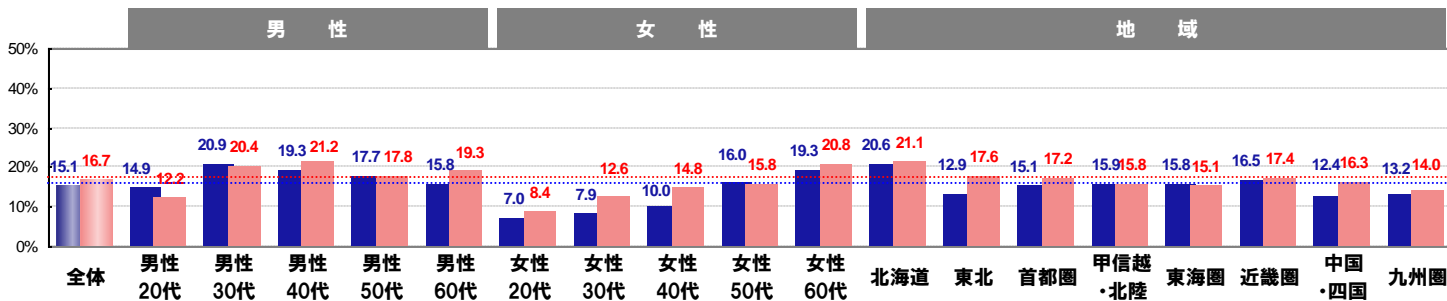
携帯電話料金



スーパーマーケット



電気料金

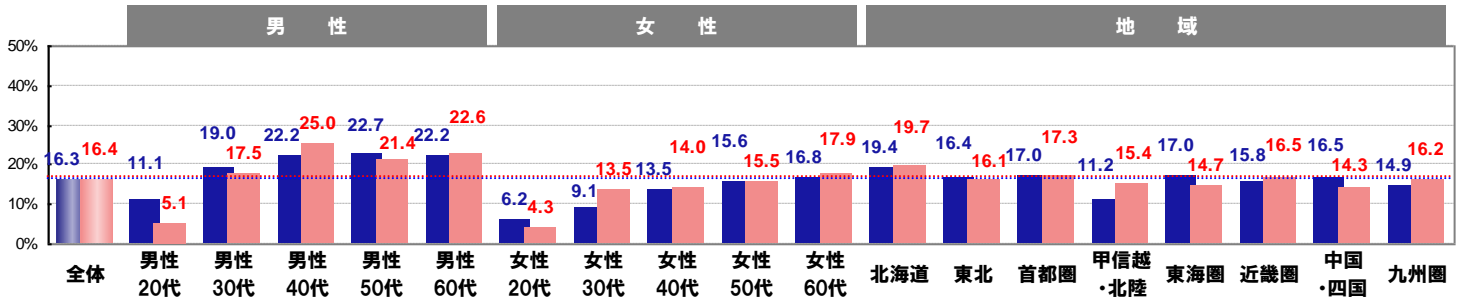


2015年	(5056)	(390)	(506)	(471)	(609)	(523)	(391)	(542)	(451)	(637)	(537)	(217)	(328)	(1809)	(317)	(618)	(816)	(428)	(523)
2016年	(5103)	(347)	(510)	(462)	(619)	(539)	(369)	(553)	(508)	(631)	(565)	(217)	(335)	(1822)	(327)	(605)	(860)	(427)	(510)

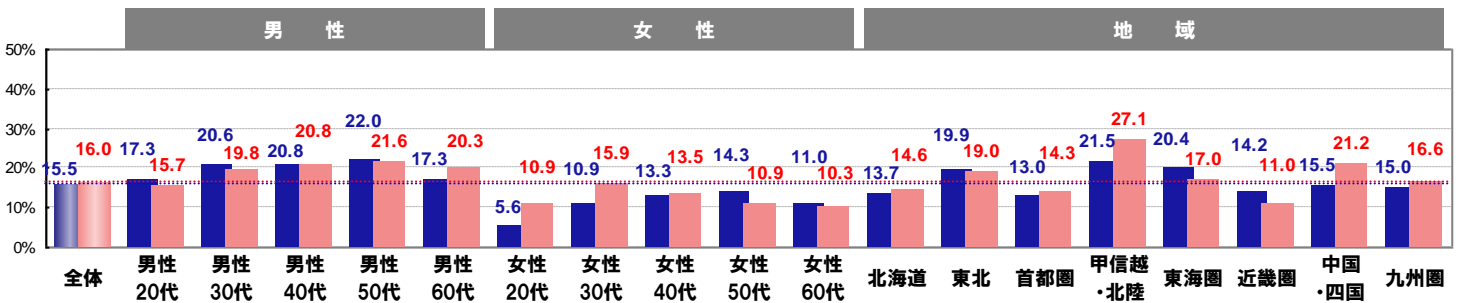
「プロバイダー(ISP)料金」でのカード利用は、女性より男性のほうが高い傾向は変わらない。
 「ガソリンスタンド」でのカード利用は甲信越・北陸、中国・四国が高く、
 同地域では昨年と比較しても増加している。

プロバイダー(ISP)料金

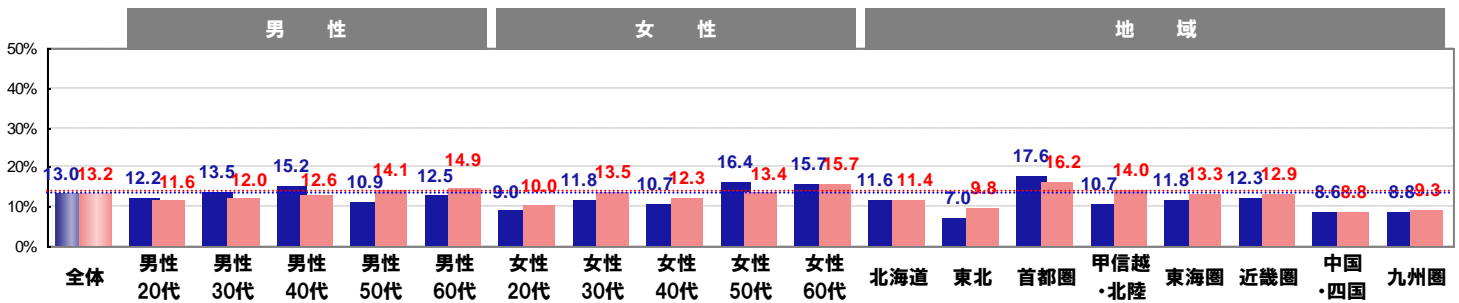
■2015年 ■2016年



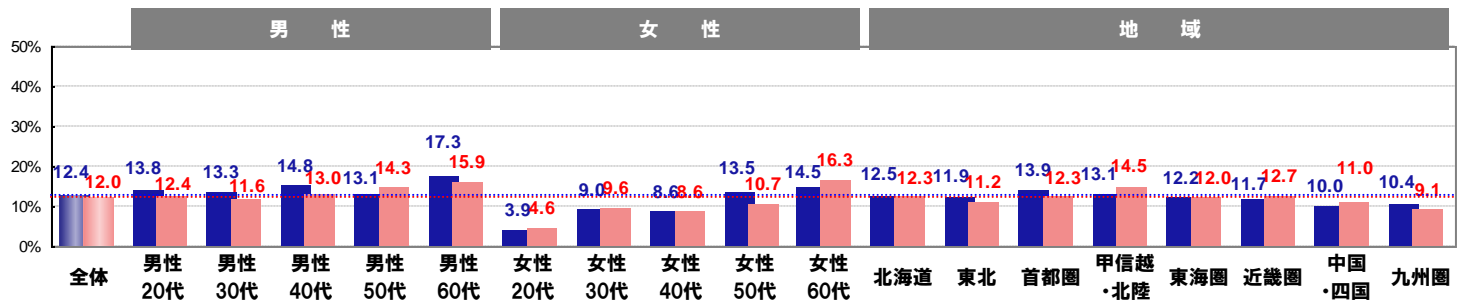
ガソリンスタンド



飲食店



家電量販店



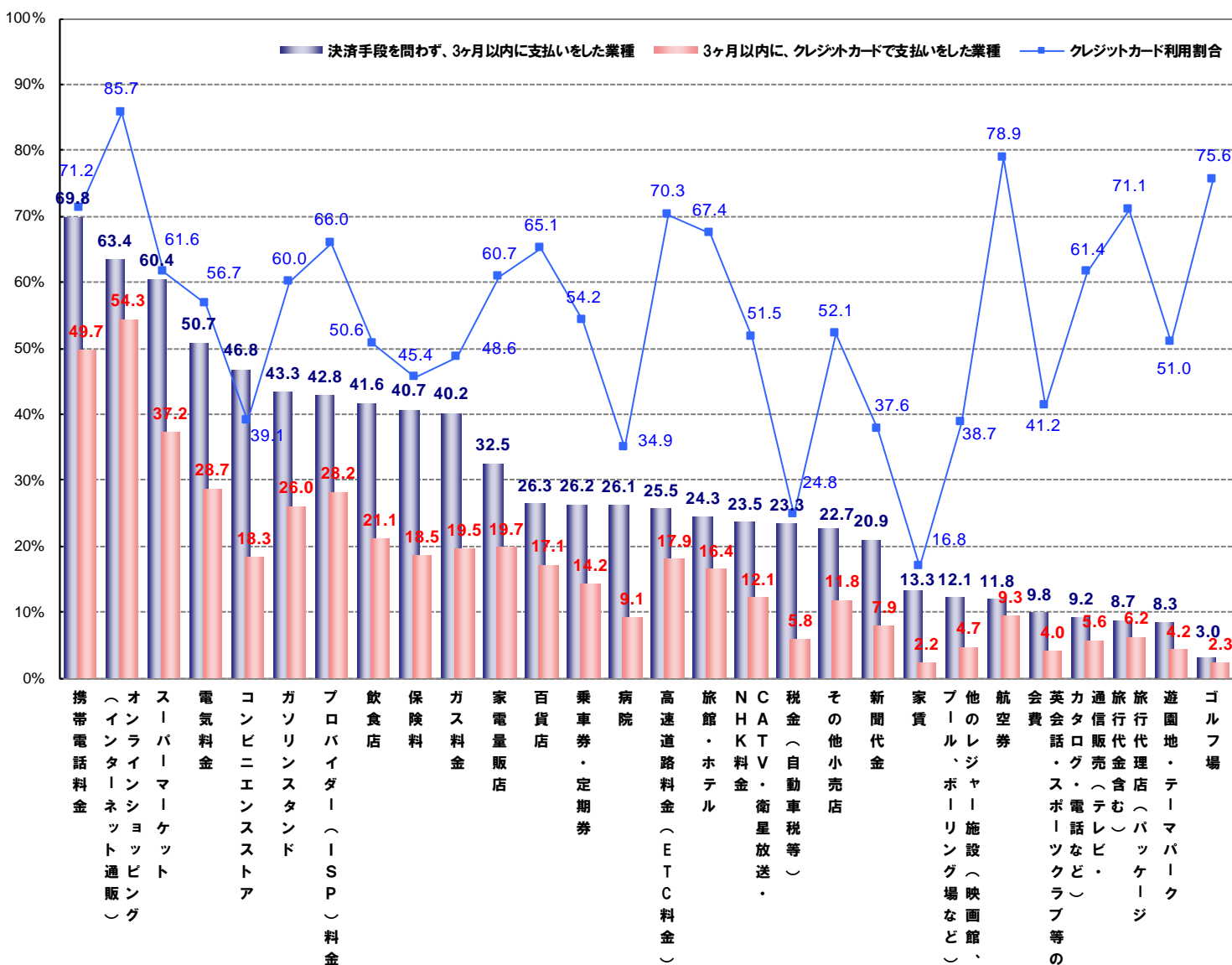
年	全体	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	北海道	東北	首都圏	甲信越・北陸	東海圏	近畿圏	中国・四国	九州圏
2015年	(5056)	(390)	(506)	(471)	(609)	(523)	(391)	(542)	(451)	(637)	(537)	(217)	(328)	(1809)	(317)	(618)	(816)	(428)	(523)
2016年	(5103)	(347)	(510)	(462)	(619)	(539)	(369)	(553)	(508)	(631)	(565)	(217)	(335)	(1822)	(327)	(605)	(860)	(427)	(510)

7. 支払いの際のクレジットカード利用割合

クレジットカード保有者の5割以上が「オンラインショッピング(インターネット通販)」の支払いでカードを利用している。支払いに占めるクレジットカード利用者の割合も8割を超えて高い。

■ 支払いの際のクレジットカード利用者の割合 (N=2946:クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。

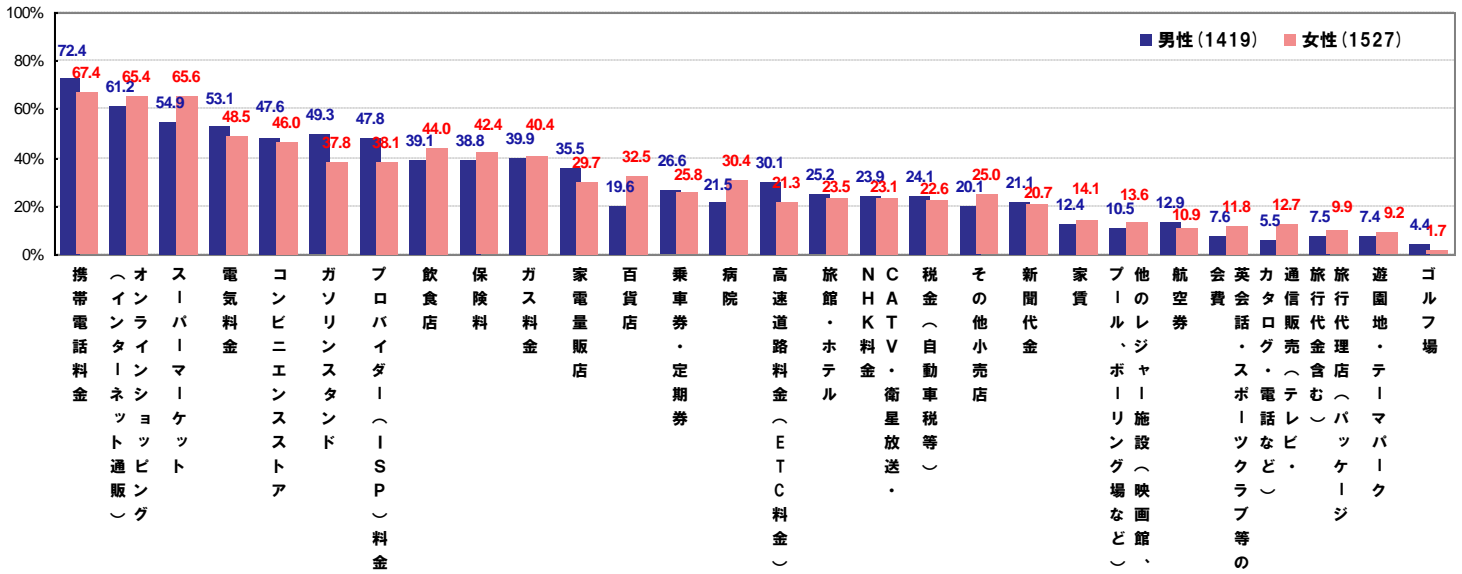


- ・決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず3ヶ月以内に支払いをした業種
- ・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種・・・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種
- ・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「3ヶ月以内にクレジットカードで利用した」が「3ヶ月以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したものの。

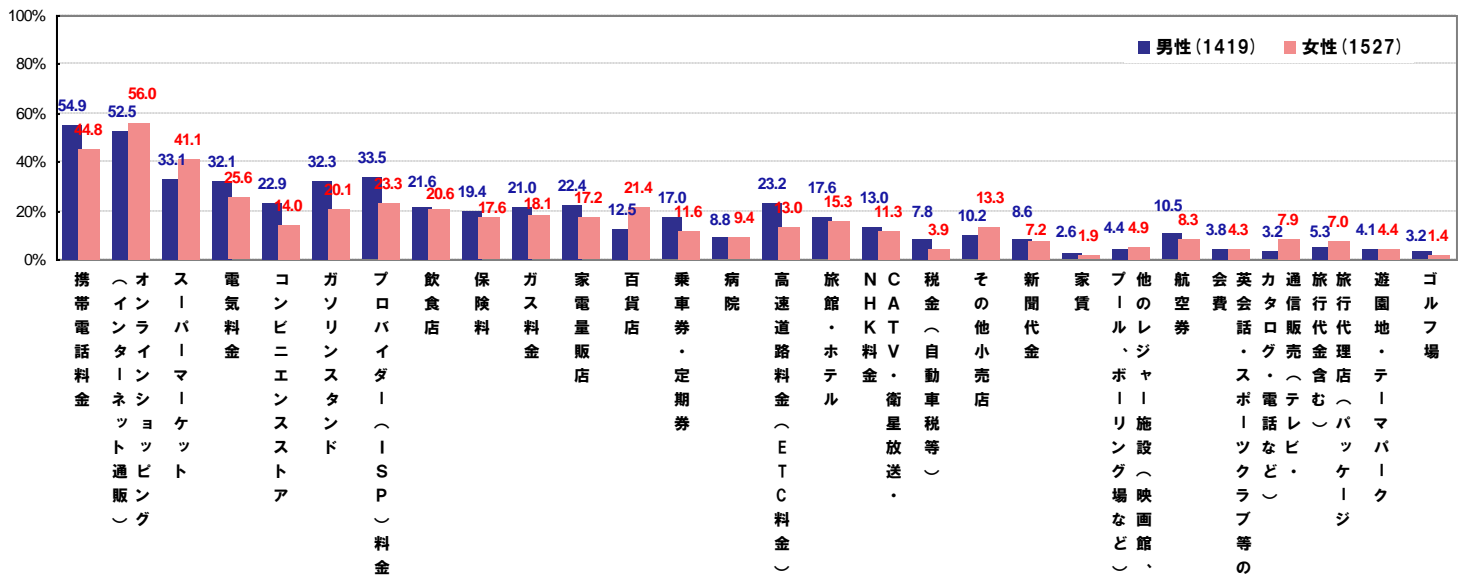
クレジットカード利用割合 = [3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種] ÷ [決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種]

一般的に、男性の方が支払時にカードを利用している。
ただし、「スーパーマーケット」や「百貨店」などでのカード利用は、女性が男性より高い。

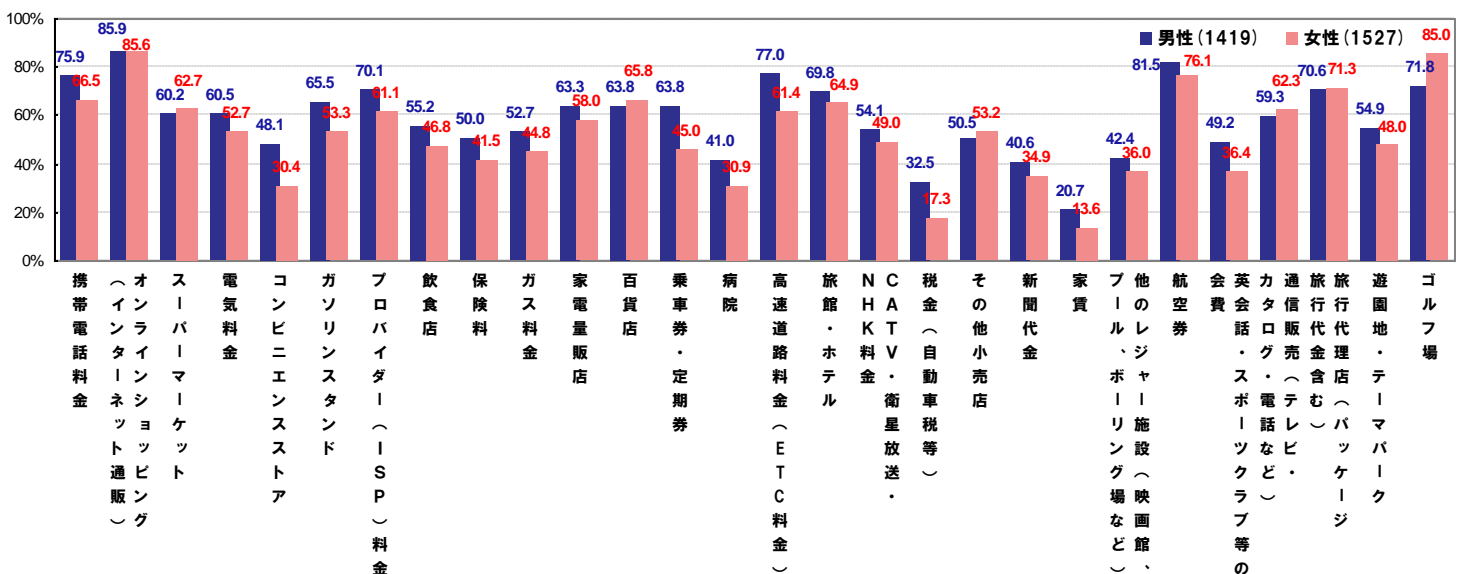
■ 決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種



■ 3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種



■ 各業種のクレジットカード利用割合



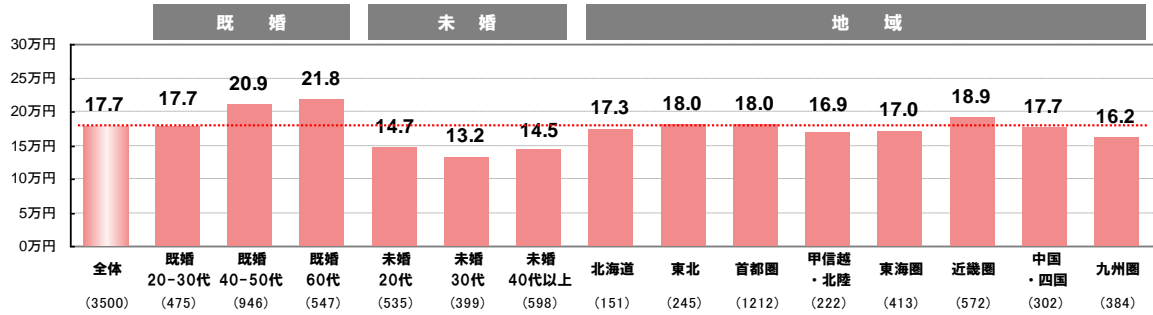
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額

クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.2万円。
そのうち平均6.2万円はクレジットカードで支払われている。

- クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.2万円。既婚世帯や、年齢が高い層ほど生活費は高く、地域別では近畿圏が19.2万円です。
- クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は6.2万円。未婚世帯は5万円以下と低い。首都圏はカード利用額が7.1万円です。

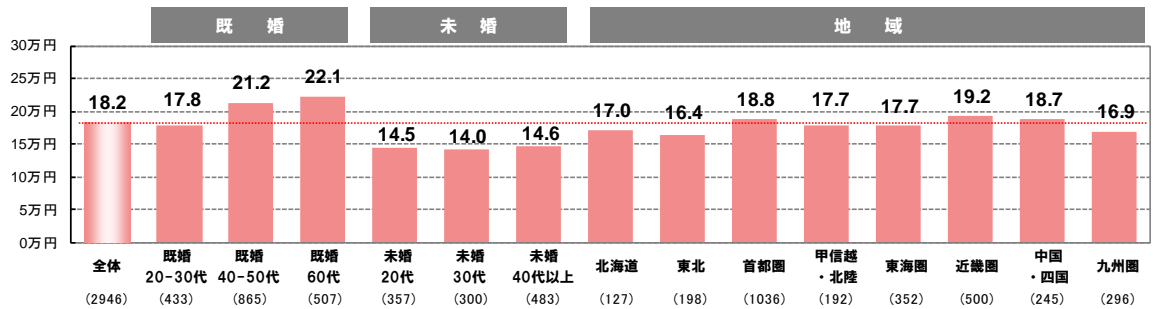
■ 世帯あたり月平均生活費【属性別】 (N=3500)

2016年



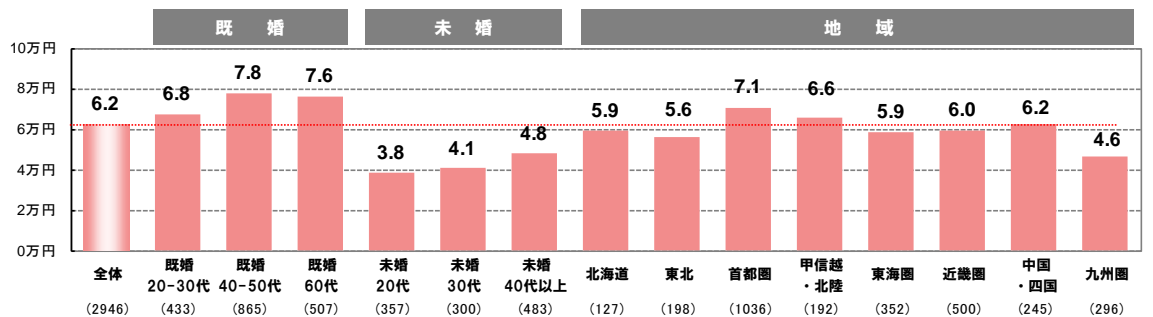
■ クレジットカード保有者の世帯あたり月平均生活費【属性別】 (N=2946)

2016年



■ クレジットカード保有者の世帯あたり月平均クレジットカード利用額 (N=2946)

2016年

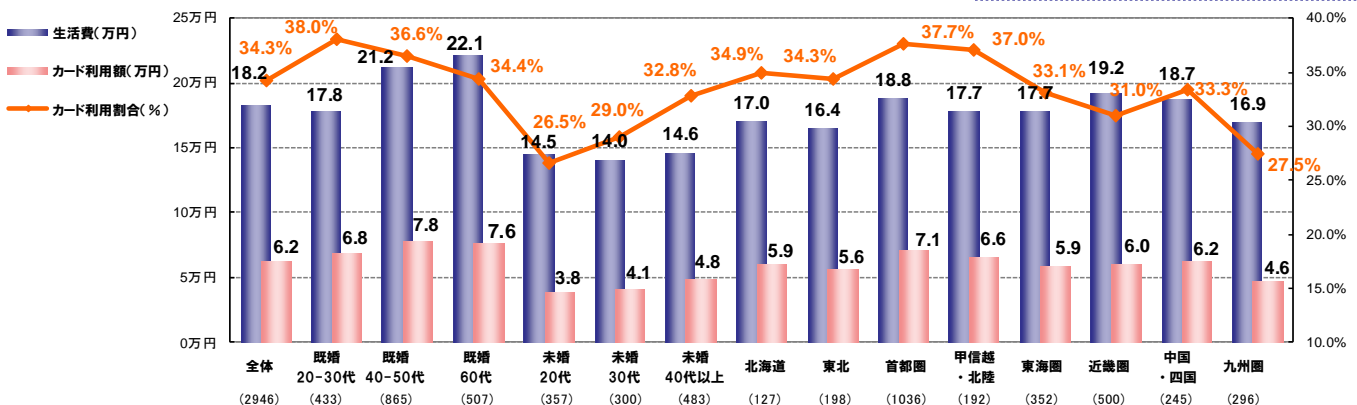


クレジットカード保有者のクレジットカード利用割合は34%。

- クレジットカード保有者の世帯あたり生活費に占めるクレジットカードの利用割合は34.3%。既婚20-30代や、地域別では首都圏のカード利用割合が高い。

■ クレジットカード保有者の世帯あたり生活費/カード利用額【属性別】 (N=2946)

※カード利用割合(%)は、世帯あたりの月平均生活費に占めるカード利用額の割合である。回答者個別のカード利用割合を算出し、その平均値を採用した。

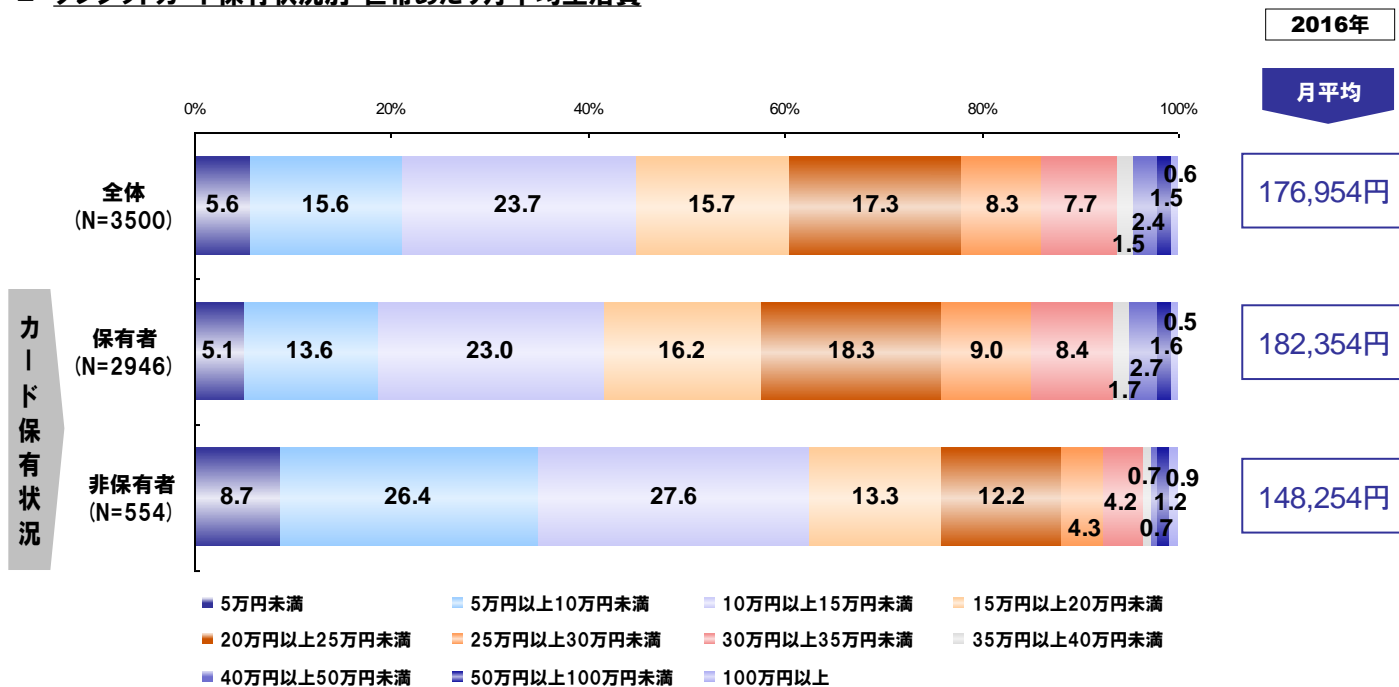


9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況

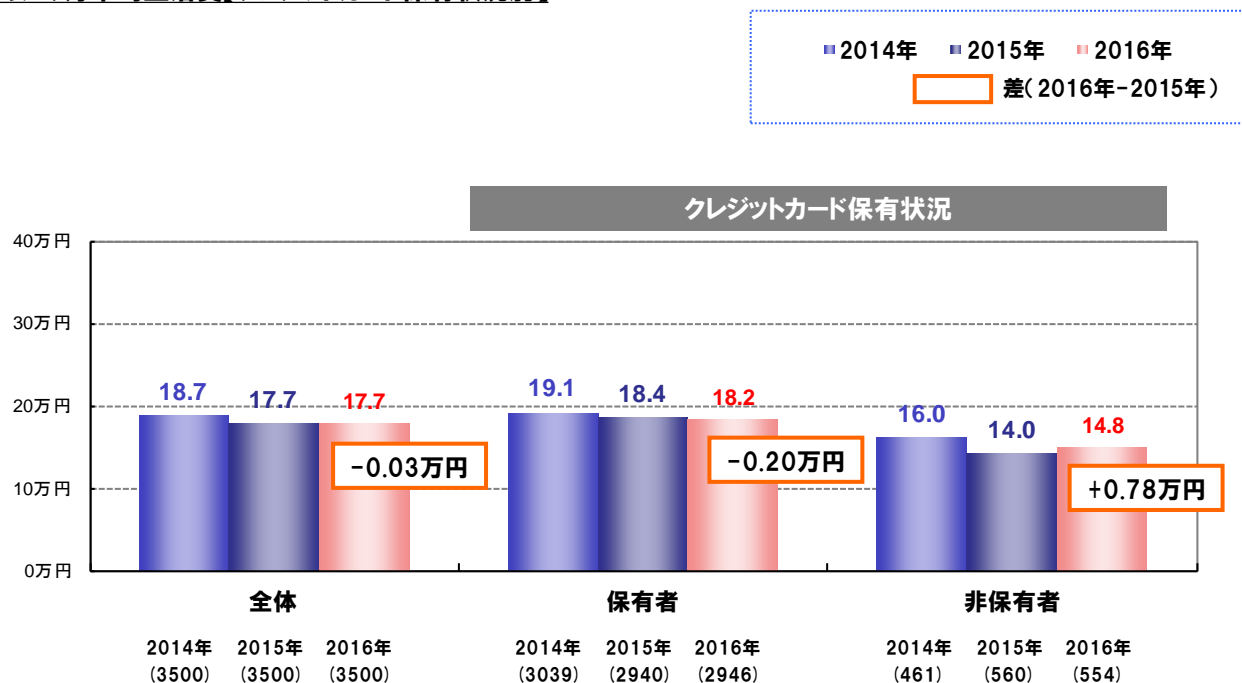
クレジットカード保有者の月平均生活費は18.2万円、非保有者の月平均生活費は14.8万円。

- クレジットカードの保有・非保有別に見た月平均生活費では、保有者が月平均18.2万円で非保有者(14.8万円)を月3.4万円上回る。クレジットカードの保有状況と、世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- 世帯あたり月平均生活費は、昨年から横ばい。クレジットカード保有者では2,000円減少。非保有者は7,800円と大きい増加がみられた。

■ クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



■ 世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】

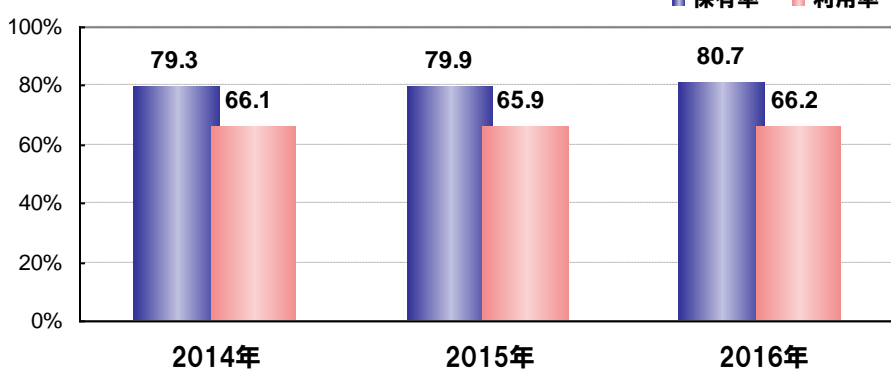


10. 電子マネーの利用状況

電子マネーは保有率、利用率とも昨年から大きな変化はみられない。
電子マネーは、「鉄道・地下鉄・バス」、「コンビニエンスストア」での利用が多い。

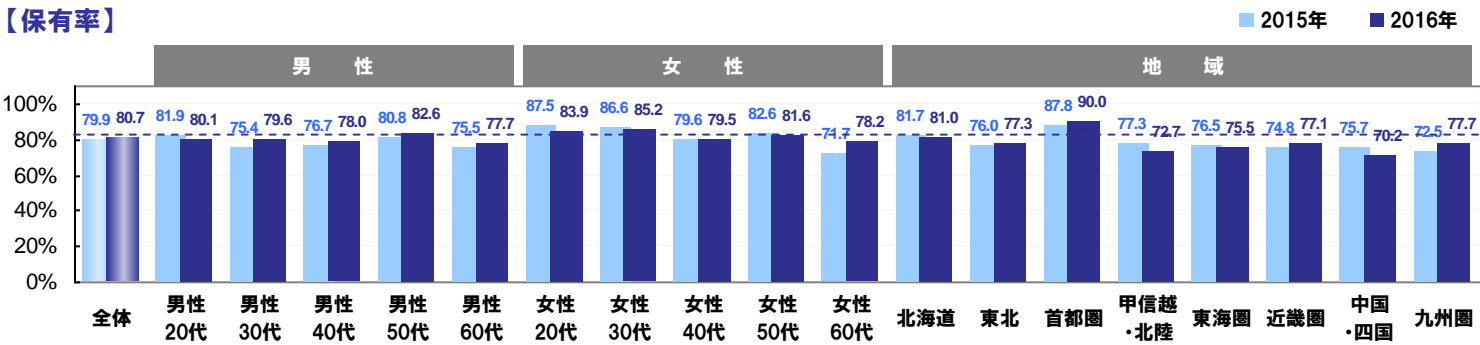
- 電子マネーの保有率(80.7%)、利用率(66.2%)ともに、昨年から横ばい。2016年は女性30代の保有が高い。地域別では首都圏の保有・利用が高い。一方で、甲信越・北陸、東海圏、中国・四国の保有・利用が低い。
- 電子マネーで支払いをしている業種は、「鉄道・地下鉄・バス(46.7%)」が最も高い。次いで「コンビニエンスストア(43.8%)」が4割を超えて続く。

■ 電子マネー保有率/利用率 (N=3500)

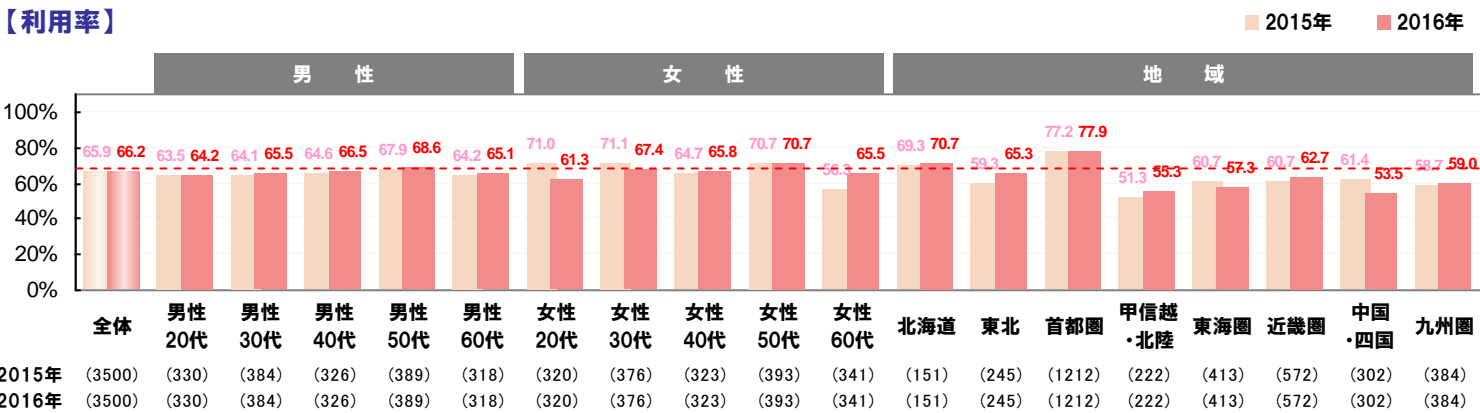


※本調査で電子マネーは「楽天Edy(エディ)」、「Suica・ICOCA・Kitaca・TOICA・SUGOCA・PASMO・manaca・nimoca・はやかけん」などの交通系電子マネー、「PiTaPa(ピタパ)」、「nanaco(ナナコ)」、「WAON(ワオン)」、「iD(アイディー)」 ※DCMXmini含む、「QUICPay(クイックペイ)」、「その他電子マネー」の保有・利用状況から電子マネー全体の保有・利用率を算出した

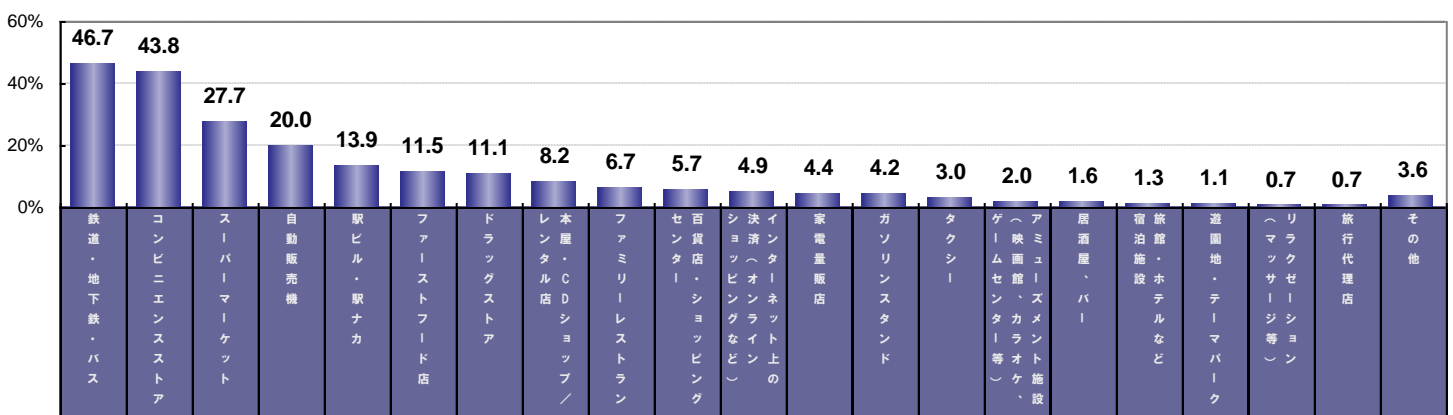
【保有率】



【利用率】



■ 電子マネー利用業種 (N=2826: 電子マネー保有者) 【2016年】

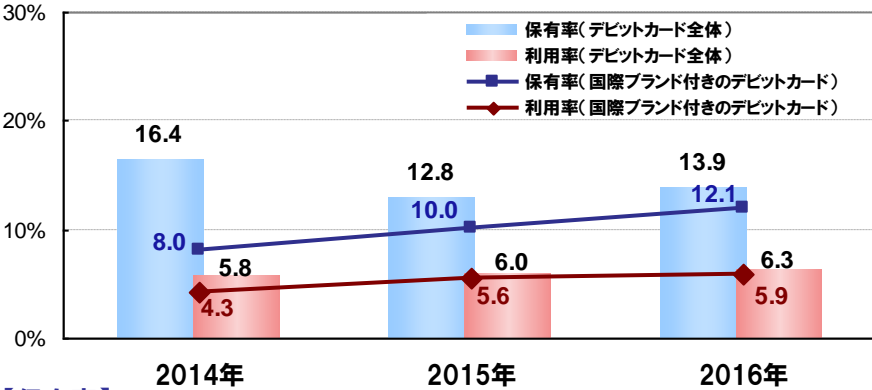


11. デビットカードの利用状況

デビットカードの保有率は14%で昨年から大きな変化はみられない。利用率では2014年から微増傾向がみられる。主な入会理由は「金融機関のキャッシュカードについてきたため」。最も利用しているのは男性40代。

- デビットカードの保有率は13.9%で昨年から増加している。属性別でも全体的に保有率が増加している。国際ブランド付きのデビットカードの保有率は12.1%で昨年から2.1ポイント増加している。
- 利用率は6.3%であった。東北は増加しており、利用率が高くなっている。
- デビットカードに入会した理由は、「金融機関のキャッシュカードについてきたため（24.0%）」が最も高い。

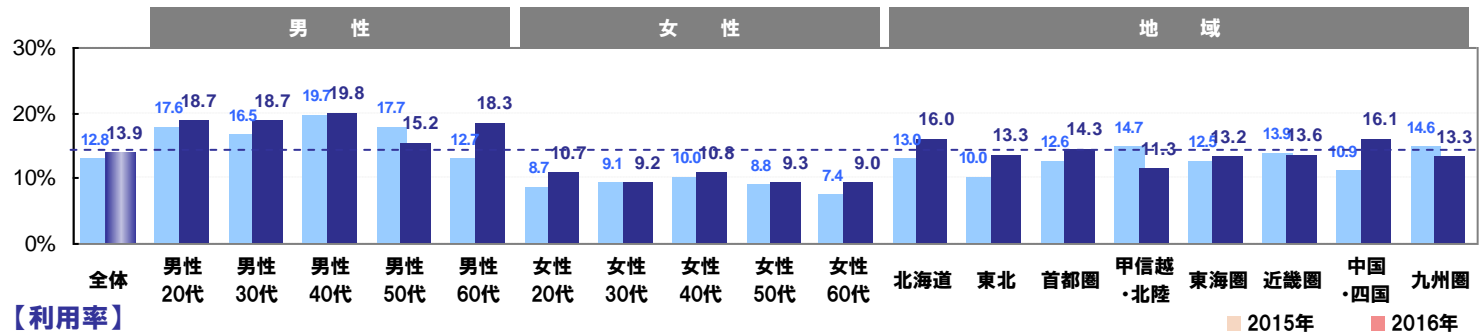
■ デビットカード保有率/利用率 (N=3500)



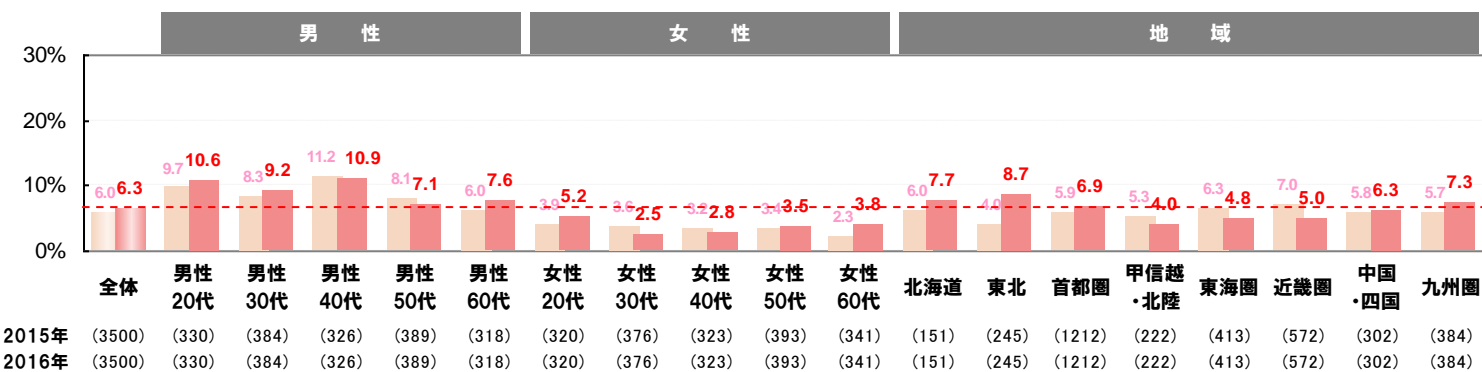
※デビットカードは本調査中で以下のように説明している。「金融機関の口座から即時引き落としで現金不要、口座残高の範囲でのご利用となるため使い過ぎることがない。金融機関で発行されたキャッシュカードなどにデビットカード機能が付帯しているものもあります。」

※本調査でデビットカードは「楽天銀行「楽天銀行デビットカード(VISA)」」、「楽天銀行「楽天銀行デビットカード(JCB)」」、「イオン銀行「イオンデビットカード(VISA)」」、「イオン銀行「イオン銀行CASH+DEBIT(JCB)」」、「ジャパンネット銀行「ワンタイムデビット(VISA)」」、「ジャパンネット銀行「ファミマカード(VISAデビット付キャッシュカード)」」、「ソニー銀行「Sony Bank Wallet」」、「住信SBI「VISAデビット付キャッシュカード」」、「りそな銀行「りそなVISAデビットカード」」、「埼玉りそな銀行「りそなVISAデビットカード」」、「三菱東京UFJ銀行「三菱東京UFJ-VISAデビット(VISA)」」、「あおぞら銀行「キャッシュカード・プラス(VISA)」」、「北洋銀行「北洋-JCBデビット」」、「東邦銀行「東邦Alwaysデビットカード<JCB>」」、「千葉銀行「スーパーカード<デビット>」」、「スルガBK「スルガ銀行VISAデビットカード」」、「大垣共立銀行「OKBデビット(JCB)」」、「北國銀行「北國VISAデビットカード」」、「近畿大阪銀行「りそなVISAデビット」」、「もみじ銀行「ワイエムデビット JCB」」、「山口銀行「ワイエムデビット JCB」」、「北九州銀行「ワイエムデビット JCB」」、「琉球銀行「りゅうぎんVISAデビットカード」」、「銀行などのキャッシュカード(J-debit: デビットカード機能付帯)」、「その他」の保有・利用状況から「デビットカード全体」の保有・利用率を算出した。国際ブランド付きのデビットカードは、全体から「銀行などのキャッシュカード(J-debit: デビットカード機能付帯)」を除いている。

【保有率】



【利用率】



■ デビットカード入会理由 (N=486: デビットカード保有者) 【2016年】

